

コーナー展示

「浮世絵で見る 品川名所巡り」

期 間	平成 26 年 4 月 5 日（土）～7 月 6 日（日）	76 日間
会 場	小講堂	
入館者数	2,859 名	

〔開催趣旨〕

平成 24 年の東京区政会館での「江戸名所・品川浮世絵づくし」展、それを受けて実施した前年のコーナー展示が好評であったことから、再度江戸名所・品川をテーマとする館蔵の浮世絵を紹介した。

〔展示内容〕

平成 24 年度に特別区協議会と共催した品川歴史館紹介展「江戸名所・品川浮世絵づくし」の際に作成したパネルを中心に展示した。また、浮世絵の多色刷りの制作工程がわかる資料を展示した。

〔展示構成〕

① 描かれた品川

浮世絵の題材になった場所を、品川区の地図とともに紹介した。

② 品川の名所

海に見える風景や潮干狩りなど、多くの人々に親しまれ、描かれた品川の名所を紹介した。

③ 品川の四季折々

御殿山の桜、海晏寺の紅葉など、当時の人々が眺めた四季の景色を紹介した。

コーナー展示

「これなーんだ?? 昔の道具展」

期 間	平成 26 年 7 月 20 日 (日) ~9 月 28 日(日) 58 日間
会 場	1 階ロビー 小講堂
入館者数	2,388 名

〔開催趣旨〕

現在、私たちは非常に多くの便利な道具に囲まれて快適な生活を送るが、電化製品がまだ一般的でなかった時代は今ほど快適なものではなかった。しかし、その中でより便利に、より快適に暮らすべく人々は知恵を出し、工夫をこらし、様々な道具を作ってきた。そこで、これらの資料を展示することで、子どもには昔の生活・技術・知恵を学ぶきっかけに、大人には当時を思い起こし懐かしさを感じてもらい、家族で対話を楽しみながら展示観覧することをねらう。

〔展示内容〕

① 暮らしの道具

煮る・炊く／保つ／着る／暖まる・涼む

② 学びの道具

③ 楽しむ道具

④ 体験展示コーナー

薬研^{やげん}・洗濯板・黒電話・おはじき・けん玉・ベーゴマ・めんこ・駕籠^{かご}などを展示
ワークシート(全問正解の子どもには、記念品で貝をプレゼント)

コーナー展示

学童疎開 70 周年記念「絵でみる学童疎開」

期 間	平成 26 年 12 月 9 日（火）～平成 27 年 2 月 1 日（日）	41 日間
会 場	小講堂	
入館者数	1,514 名	

〔開催趣旨〕

太平洋戦争の戦況が悪化し、銃後の生活も空襲におびやかされるようになると、旧品川区の学童は東京多摩地区へ、旧荏原区の学童は静岡と富山へ親元を離れて集団疎開した。本展示は、学童疎開 70 周年を記念し、学童疎開資料センターの協力により開催した。

〔展示概要〕

荏原出身の小島義一氏は、自身の体験や聞き取りをもとに、空襲や疎開に関する数々の絵画を描き続けている。本展示では、氏の絵画のうち子どもたちの疎開中の生活を描いた絵を展示した。展示絵画の一部は、絵本『うちに帰りたい!』に収録されている。